

「スウェーデンにおける放射線防護上級管理官の教育・訓練」

Ms. Virva Nilsson (Forsmark NPP, スウェーデン)

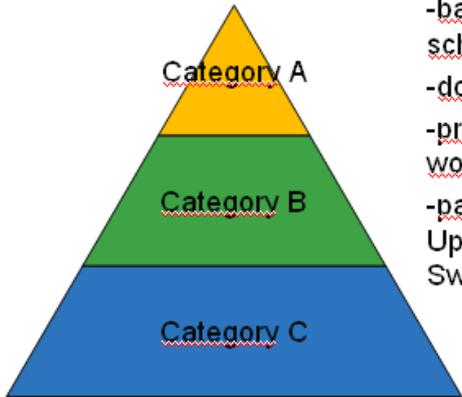
スウェーデンでは発電所ごとに独自の放射線防護担当者を擁しているが、定検時などにはコンサルタント会社より放射線防護技術者を一時的に補充する仕組みになっており、それぞれカテゴリ A, B 及び C の 3 区分で分類されている。発電所の RP-Officer (放射線防護上級管理官) はコンサルタント会社におけるカテゴリ A のレベルに相当し、RP-Technician (放射線防護技術者) はカテゴリ B, C に相当する。

各コンサルタント会社はそれぞれ独自の教育メニューを有しており、一定水準の技術レベルの確保のための統一的な教育・訓練プログラムが求められていた。

そこで、2002 年に発電所とコンサルタント会社の放射線防護担当者の中で協議した結果、両者が共同で放射線防護の上級管理者及び技術者の教育・訓練プログラムの策定に取り組むこととなった。2003 年にタスクチームを発足、各レベルに対応したメニューの策定が行われた。

今後の課題として、将来的な需要に応えるために、上位レベルの技術者の要員拡大と若い世代の参入、育成の促進が挙げられる。

The levels of E&T for RPO's in Sweden – Category A



- RP-Technician Category A / RP-Officer**
 - basic education: upper secondary level / high school (or equivalent)
 - documented competence Category B
 - practical experience at the facility (at least 32 work weeks)
 - passed "A-education" held by University of Uppsala (common for all the nuclear facilities in Sweden)

© Forsmarks Kraftgrupp AB

7

VATTENFALL 